第4回　意見交換会　資料

令和8年（2026年）10月4日

教育委員会事務局
学校施設管理課企画推進係
☎06-6858-2705
kyosuishin@city.toyonaka.osaka.jp

建て替えに向けた考え方

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき、基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。だたし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

それぞれの小中学校を個別に建て替えを行うことを検討しています。

※桜井谷小・第二中は、児童推計に基づくと、将来に渡り児童生徒数が大きく増減しない見込みです。

（参考）

学校	建築年度		築80年となる年度	区分	R8（2026）	R17（2035）	R27（2045）	R37（2055）
桜井谷小	校舎	1961	2041	学級数	20	18	18	18
	体育館	1968	2048	児童数	657	597	615	593
第二中	校舎	1961	2041	学級数	16	18	18	18
	体育館	1961	2041	生徒数	551	569	581	621

建て替え手法の選定

・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。

・桜井谷小学校・第二中学校の建て替え手法は2案考えられます。

⇒**案1：単独建て替え案（それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案）**

⇒**案2：2校連続整備案（第二中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を桜井谷小が利用している間に桜井谷小を建て替える案）**

上記2案以外に赤坂上池公園等へ仮設校舎を建設する建て替え手法の検討も実施しましたが、法令等の理由から仮設校舎を建築できないため採用せず

・建て替えにあたっては、**工事期間中においても最適な学習環境を確保**することが重要です。

建て替え手法や、整備後の学校の姿については、地域の皆様と対話を行いながら、整備を進めてまいります。

単独建て替え案

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

単独建て替え案

✅それぞれの学校の敷地内で建て替えを実施する案
✅運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
✅敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する場合があります。

■配置イメージ図

第二中

■工事期間：**4年程度**

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**6年程度**となります。

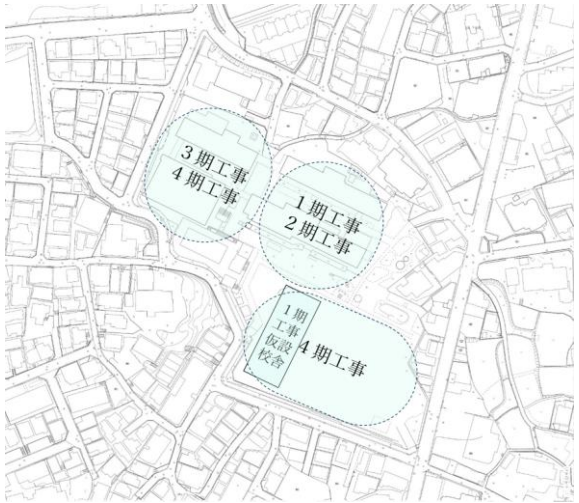


1期工事（2年）	①プール・テニスコート解体工事 ②新校舎建設工事
2期工事（2年）	③旧校舎解体工事 ④運動場・外構整備

桜井谷小

■工事期間：**8年程度**

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**10年程度**となります。



1期工事（2年）	①仮設校舎建設 ②解体工事 ③建設工事
2期工事（2年）	⑤解体工事 ⑥建設工事
3期工事（2年）	⑦解体工事 ⑧建設工事
4期工事（2年）	⑨解体工事 ⑩建設工事 ⑪仮設校舎解体工事 ⑫運動場・外構整備

ポイント

・通学路は変わりません。
・工事による騒音、振動等の影響を受けることになります。
・整備期間の長期化が予想されます。
・各校ともに運動場の利用は全面的に制限されます。

※小学校・中学校で連続して建替工事期間にあたる児童生徒が出ないようにするため、第二中からの建て替えを予定しています。

※スケジュールや配置イメージは一例です。

2校連続整備案

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

2校連続整備案

✅第二中の運動場に新校舎を建設し、空きになった旧校舎を桜井谷小が利用している間に桜井谷小を建て替える案

■工事期間：6年程度

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**8年程度**となります。

1期工事 （2年）	①第二中新校舎建設 ⇒完成後、桜井谷小が第二中旧校舎に引越し
2期工事 （3年）	②桜井谷小解体工事 ③桜井谷小建設工事 ⇒完成後、桜井谷小が新校舎に引越し
3期工事 （1年）	④第二中旧校舎解体・運動場整備

■配置イメージ図（第二中学校）



■配置イメージ図（桜井谷小学校）



ポイント

・2期工事の期間中は、一時的に2校が同じ第二中の敷地内で過ごすこととなります。
・桜井谷小児童は、通学路の変更が生じます。
・桜井谷小児童は、工事による騒音、振動等の影響を受けることがありません。

※スケジュールや配置イメージは一例です。

整備に伴う影響について

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

	2校連続整備	単独建て替え案　桜井谷小	単独建て替え案　第二中
工事期間	6年程度	計12年程度 （桜井谷小：8年程度　第二中：4年程度）	
運動場	工事期間中、一定の面積の運動場を確保可能	工事期間中、ほぼ全域の制限 ⇒第二中の運動場を共有、桜井谷小敷地内にも小規模ながら可能な限り運動スペースを確保	工事期間中、一定の面積の運動場を確保可能
体育館	工事期間中体育館が存在する状態を維持		
プール	外部のプール施設（近隣の学校、公営施設、民間施設）の利用を検討		
通学環境	・2期工事期間中、桜井谷小児童が第二中に通学 ・下校時間帯に工事車両の往来あり、ガードマンの配置等を実施	下校時間帯に工事車両の往来あり、ガードマンの配置等を実施	下校時間帯に工事車両の往来あり、ガードマンの配置等を実施
放課後こどもクラブ	第二中旧校舎でのクラブ室確保を想定	クラブ室の配置された校舎を建て替えている間は、仮設校舎内でクラブ室確保を想定。	ー
工事に伴う影響	第二中：工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。
周辺への影響	・周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。 ・新校舎の配置が旧校舎と異なる位置となる。	周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。	・周辺地域に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来に配慮しながら工事を進めます。 ・新校舎の配置が旧校舎と異なる位置となる。

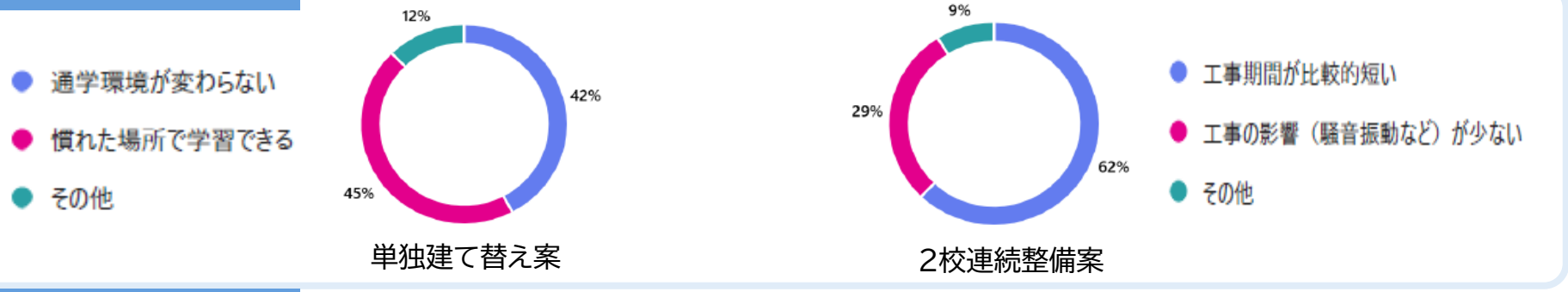
アンケート結果について（保護者等）

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

アンケート概要

対象者	未就学児保護者/第二中・桜井谷小・桜井谷東小保護者
回答数	583件
項目	望ましいと考える改築手法/選択した改築方法の理由/自由意見

各案を選んだ理由



通学環境への影響を最小限に抑え、かつ、短い工期で建て替えを実現することが必要

ご意見（自由記述）抜粋

ご意見	回答
【期間面】 ・どちらを選んでもグラウンドが使えない、狭くなるという問題が出てくる。それなら短期間で済む方法の方がまだ気持ち的にも負担が少ないと思う。 ・子供達が安心、安全に過ごせる方法ならどれでも良い、できるだけ早く終わらせてほしい。	―
【整備面】 ・周辺の道路も整えて、桜井谷地区のシンボルとなるような小学校、中学校にしてほしい。 ・第二中学校の校門を、桜井谷小学校側に変えて欲しい。	・児童・生徒の安全確保に配慮した設計が必要になると考えています。設計を実施する際にいただいたご意見を参考にさせていただきます。
【建替面】 ・二中の校舎について、現在の運動場辺りに新校舎を建設する案には納得できない。 ・2校が同居している間、小学校1年生から中学校3年生までの歳の大きく離れた児童・生徒が同じ敷地内で生活することで、事故やトラブルが起きないか不安。	・建替事業が学習環境に与える影響を最小限にする観点から、現在の運動場部分に新校舎を建設することで工期を短縮することを検討しております。一方、桜井谷小は学校敷地の高低差の関係から現校舎位置に運動場を整備することが難しく、現校舎位置での新校舎建設を検討しております。 ・（2校連続整備を実施する場合）使用する運動場のエリア分け等により中学生・小学生双方が安全かつ円滑に利用できるよう配慮します。運動場以外の諸室（体育館を含む。）の利用については、原則として共用を想定していません。

アンケート結果について（児童・生徒）

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

アンケート概要

対象者	第二中1年生～3年生/桜井谷小・桜井谷東小4年生～6年生
回答数	219件
項目	学校の中で好きな場所/学校の中で不便な場所/新しい学校はどんな学校にしてほしいか 単独建て替え案を採用する場合、心配なこと/・2校連続整備案を採用する場合、心配なこと/学校の建て替えについて、思うこと

各項目ごとの意見

・単独建て替え案を採用する場合、心配なこと

→体育館はそのまま使えるのか
→建替え中の塵や埃が舞う
→工事の危険が隣り合わせ
→運動場が使えなくなるのが嫌

・2校連続整備案を採用する場合、心配なこと

→慣れない環境が嫌
→引っ越しがめんどう
→二中にいる時となりでやっている新校舎の工事の騒音（第二中）
→小学生が中学校の規格に合わず不便なことが多そう
→中学生と小学生でのトラブルが心配

・新しい学校はどんな学校にしてほしいですか。

→教室が広くなってほしい
→全体的に新しく綺麗にしてほしい
→移動が便利で1号館や2号館と3号館がある階を同じにしてほしい（桜井谷小）

・学校の建て替えについて、思うこと

→新しい校舎ができることに期待する
→新校舎に入れるイベントや記念事業を企画してほしい
→早めにしたほうがいい
→災害に強い校舎
→なるべく環境が変わらず学校生活を送れるように、制限は最小限にして欲しい
→ビオトープと田んぼと芝生広場は残してほしい（桜井谷小）

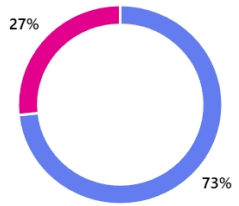
アンケート結果について（周辺住民）

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

アンケート概要

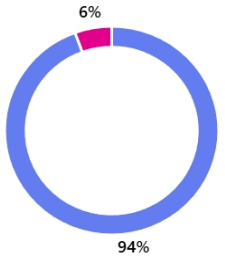
対象者	第二中及び桜井谷小の周辺住民
回答数	48件
項目	望ましいと考える改築手法/選択した改築方法の理由/自由意見

各案を選んだ理由



- 通学路が変わらないため、桜井谷小児童の登下校の状況に変化がない　11
- その他　4

単独建て替え案



- 工事期間が比較的短い　17
- その他　1

2校連続整備案

通学環境への影響を最小限に抑え、かつ、短い工期で建て替えを実現することが必要

ご意見（自由記述）抜粋

ご意見	回答
【安全対策・通学環境】 ・工事車両の出入りには十分な安全対策を望む ・子ども達の安全第一で進めてほしい ・工事車両が増えるので登下校指導を徹底してほしい	・児童生徒及び学校周辺にお住まいの皆さまが安全に通行できるよう、工事車両の通行ルート、通行時間帯等について、工事事業者と調整を行います。また、通行上危険な場所の調査を行い、必要に応じて、カーブミラーの設置、警備員の配置等の対応策を検討します。 ・交通関係各課、警察等と共同で、通学路の安全確認を実施し、危険箇所に対する対応策を講じます。
【工事の影響】 ・工事期間が長くならないようにしてほしい ・騒音や埃等のストレスが不安 ・近くに住んでいるので工事期間が短い方が良い	・学校周辺に対する騒音、振動、粉塵等の工事の影響を可能な限り抑えられるよう、工事用防音パネル、防塵シートの設置等の措置を講じるとともに、工期を可能な限り短くできるような施策を検討します。
【校舎位置の逆転について】 ・第二中の校舎位置逆転はやめてほしい ・日照・採光・通風への影響を説明してほしい ・自宅の日当たりや風通しが悪くなる	・可能な限り工期を短くして、児童生徒の充実した学びの環境を早期に確保する趣旨をご理解いただければと思います。日照等については、引き続き、情報提供・意見交換を行いながら、検討を進めていきます。

学校教育活動について

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

活動場所

体育授業・休み時間の活動場所

【第二中】

大階段上部分等を整備し活動場所を確保



【桜井谷小】

工事期間中、運動場の一部を活動場所として確保



※工事期間中、体育館は必ず利用できる状況で整備を実施

※上記は、2校連続整備案の場合を想定しています。単独整備案の場合、両校それぞれの工事期間中は、互いの運動場を共同利用する方法で活動場所を確保します。

運動会等の行事

他の学校の運動場、市有体育施設等の他の施設の利用を想定

騒音・振動

基準

騒音：85db（掃除機・救急車のサイレン）

振動：75db（家具や窓がわずかに揺れる程度）

騒音・振動が与える影響

作業効率・集中力の低下・会話妨害

対策

騒音：防音養生や工事用防音パネルの設置で－10～20db可能





周辺道路の安全対策について

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

想定工事車両通行ルート



黄色:想定工事車両通行ルート
緑色:想定工事車両通行ルートのうち、通行時間帯規制のあるルート

※現段階で想定されるルートや対策であり確定したものではございません。

安全対策

学校敷地内における児童生徒の安全確保

・工事エリアとの動線切り分け
・誘導員の配置を検討
・毎日の安全点検や危険個所確認の徹底

通学中の児童生徒の安全確保

・通学時間帯における誘導員の配置を検討
・毎日の安全点検や危険箇所確認の徹底
・スクールゾーンの設定
・通学、通園の時間帯での大型車両の搬入搬出を控える
・建物外周には、必要に応じ飛散・飛来・落下による事故防止のための設備を設置



イメージ

工事車両通行ルートの安全確保

・ルート上での工事車両の待機が発生しないよう指導
・曲がり角等の見通しが悪くなる箇所への誘導員の配置を検討
・生活道路は徐行運転を行うよう指導

桜井谷小・第二中の建て替え手法

令和8年10月4日
桜井谷小学校・第二中学校
意見交換用資料

寄せられた意見

意見交換会・アンケート調査において、多数寄せられた意見

- ✅工事期間ができるだけ短くなるような建て替え手法を選択すべき
- ✅工事の影響をできる限り抑え、最大限充実した教育環境を維持するべき
- ✅工事中の通学の安全を確保するべき
- ✅学校周辺の生活環境に与える影響をできる限り抑えるべき

建て替え手法の選定方針

建て替え手法の選定に当たっては、個別の学校や地域における特有の事情等に配慮しながら、各手法ごとの教育環境への影響、コスト、工事期間の各観点から総合的に判断を行う（「豊中市学校施設整備方針」参照）。

選択する建て替え手法

桜井谷小・第二中の両校は、近接しており、立地的に2校連続整備案が選択可能です。2校連続整備案を選択した場合、桜井谷小児童は、工事に伴う影響（騒音、振動等）を受けない充実した教育環境を維持することができます。また、工期短縮により、児童・生徒の教育環境に与える影響及び地域住民の生活環境に与える影響を小さくすることが可能です。一方、2校連続整備案で懸念される通学上の安全確保の問題については、誘導員の配置等による徹底した安全対策により回避が可能と考えられます。これらの事情や意見交換会・アンケートで得られた意見等を踏まえ、桜井谷小・第二中の建て替え手法は、**2校連続整備**が望ましいものと考えます。

今後の予定

今後も、引き続き、情報提供や意見交換を行いながら、両校の建て替えを進めてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

よくある質問と当校区における対策について

施設面

教室は今より広くなりますか	1教室74㎡を想定しており、従来より広くなります。
なぜ今建て替えるのですか	両校ともに築後60年以上経過した施設であり、豊中市長寿命化計画において、早期に建て替えを実施する学校に指定されているため、建て替えの検討を開始しております。
どのような施設設計にするか相談できますか	建て替えの手法が決定した後、施設設計について、ワークショップを実施する予定です。
プールは作りますか	小学校における水泳授業は、原則として民間事業者または公設プールを活用するため、桜井谷小にはプールを設置しません。中学校における水泳授業は、原則として自校で実施するため、第二中にはプールを設置する予定です。

工事面

工事車両のルートはどうなりますか	施工事業者決定後、ワークショップ等を通じて学校や地域の意見を聞きながら、施工事業者と協議の上決定します。
建替えには何年かかりますか	工事期間について、単独建て替えの場合は12年程度、2校連続整備の場合は6年程度かかることを想定しています
工事期間中の騒音や振動への対策はされますか	騒音・振動が大きくなる作業は、出来る限り学校活動への影響が少ない時間帯に実施し、併せて、防音パネルの設置等の対策を講じます。
工事期間中の避難所はどうなりますか	小学校・中学校いずれも新旧どちらかの体育館は残したまま建て替えるため、避難所開設は工事期間中も行います。

その他

部活動は継続できますか	子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保するため、令和10年より部活動の地域展開を推進し、「とよチャレ」（豊中市地域クラブ活動チャレンジ推進事業）を実施します。建て替え時期において、第二中学校の運動場が使用できない場合、近隣の中学校施設の活用を調整し、第二中校区生徒が参加しやすい環境整備に努めます。
工事期間中、運動会などの行事は継続できますか	運動会などの行事については、近隣の小中学校をはじめとする学校施設の利用、市有体育施設の利用等を検討します。
市民への情報発信はどのようにされますか	市ホームページ、コドモン、とよふぁみ（母子モ）、保育施設へのチラシ配架を実施し、広く周知を行います
工事期間中通学路は変わりますか	2校連続整備の場合、桜井谷小学校児童が第二中学校へ通学する期間があります
他の学校区でも建て替えは検討していますか	全ての学校が築後概ね80年以内を目安に整備を完了させるため順次建て替えの検討をしております